

〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル単語帳 〕

601 ㊦ **should** [シュッド] ※ should は shall の過去形 → 【単語帳 No. 595 … shall】参照。

- ㊦ ① ~すべきである
② <<shall の過去形>>

- ① **should** は shall の過去形だが、おもに現在形の文で使い、「~すべきである」の意味になる。
② 時制の一致を受けるときには、shall が過去形になって、**should** になる。

<<短縮形>> **should** not = **shouldn't**

☆ **should** を使った文はふつう、had better ~ 「~したほうがよい」を使った文と書き換えができるが、日本語訳に反して、had better ~ のほうが **should** よりも強い言い方になる。

※ had better ~ → 【No. 488 … better】

should は must 「~しなければならない」と比べても、やわらかい表現である。

→ 【単語帳 No. 588 … must】

You **should** go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行くべきだ。』

= You had better go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行ったほうがよい。』

※ had better は **should** よりも強い表現。

Which train **should** I take to go to Osaka?

『大阪に行くには私はどの電車に乗るべきですか？』

We **shouldn't** stay here long.

『私たちはここに長く滞在すべきではない。』

☆ 時制の一致を受けるときは、shall が過去形になる。

I thought (that) I **should** [would] leave soon.

『私はすぐに出発しようと思いました。』

※ 主節の動詞が過去形(thought)なので、that の後ろの文の時制も過去形になる。

→ くわしくは、ダントツ英文法【接続詞の that…時制の一致】

602 ㊦ **if** [イフ]

㊦ もし~ならば

※ <<時・条件>>を表す副詞節の文では、未来のことも現在形で表す。

例えば、「明日雨が降ったら」という文では、未来(明日)のことも現在形を使ってあらかず。

くわしくは、プリント教材の

【時・条件をあらわす副詞節】参照。

If you are busy now, I will help you. … ①

= I will help you **if** you are busy now. … ②

『もしあなたが今忙しいなら、私があなたを手伝います。』

If it rains tomorrow, we can't play tennis. … ①

= We can't play tennis **if** it rains tomorrow. … ②

『もし明日雨がふったら、私たちはテニスをする事ができません。』

☆ ①… 接続詞を文頭に使った文 / ②… 接続詞を文中に使った文

※ **if** には「~かどうか」の意味もある。

→ 【No. 729 … care】【No. 1132 … might】の例文も参照のこと。

※ **if**, because, when, after, before などの接続詞がある文では、接続詞を文頭に使った文(上記の①の文)と、接続詞を文中に使った文(上記の②の文)の2通りの英文を作ることができる。

… 接続詞が文頭にある文では、文中に、(コンマ)が必要になる。コンマによって、その接続詞の影響の範囲がわかる。

603 ㊦ **bring** [ブリング]

㊦ ~を持ってくる、連れてくる
(⇔ take 「~を持っていく、連れていく」)

→ 【単語帳 No. 140 … take】

活用 : brought [ブロート]

- brought - bringing

3単現形 : brings [ブリングス]

bring up 『(子供を)育てる、しつける』

bring back ~ 『~を持って[連れて]帰る、(持ち主などに返す)』

bring [人][物] 『[人]に[物]を持ってくる』

= **bring** [物] to [人]

※ プリント教材の【第3文型と第4文型】参照。

Bring me the book. 『私にその本を持ってきて。』

= **Bring** the book to me.

What **brings** you here?

(→ 『何があなたをここに連れてきたのですか?』)

→ 『どうしてここに来たのですか?』

Ken was **brought up** in Tokyo. 『ケン(は)は東京で育った。』

※ 受け身[受動態]の文…「育てられた」→「育った」と訳している

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

604

☒ **off** [オ(一)ふ] (⇔ on)☐ 副 離れて、はずれて、とれて
(電気・ガスなどが)切れて、(仕事を)休んで

☐ 前 ~から離れて

at 30 percent [パ**セント**] **off** 『30%引きで』
take **off** ~ 『~を脱ぐ (⇔ put on ~)、
(飛行機が)離陸する (⇔ land)』
→ 【単語帳 No. 952… land】turn **off** ~ 『~のスイッチを消す』
(⇔ turn on ~)get **off** ~ 『~を降りる』 (⇔ get on ~)☆ **off** には **形容詞** の用法もある。the **off** season 『シーズンオフ』This plane is going to take **off** in five minutes.
『この飛行機は5分後に離陸します。』She took **off** her coat. 『彼女はコートを脱ぎました。』Turn **off** the **TV** [light]. 『テレビ[明かり]を消しなさい。』I'm **off** today. 『私は今日は仕事が休みです。』Get **off** the train. 『その電車を降りなさい。』Keep **off** the grass. 『芝生(しばふ)に入るな。』【掲示】
※ grass [グ**ラ**ス(一)ス]「芝生(しばふ)、草」☆ 上記の2つの文の **off** はどちらも **副詞** とする考え方もある。My father was **off** work yesterday.
『私の父は昨日仕事を休んだ。』

605

☒ **between** [ビトゥ**ウ**ィーン] **アクセント注意**

☐ 前 (2つ・2人)の間に[で、の]

between ~ and ... 『~と…の間に』**between** … 2つ・2人の間に
あることを表す。among … 3つ・3人以上の間に
あることを表す。
→ 【単語帳 No. 609】This train runs **between** Tokyo and Osaka.
『この電車は東京と大阪の間を走ります。』Come here **between** three and four (o'clock).
『3時から4時の間にここに来なさい。』Who is that man standing **between** Emi and Ken?
『エミをケンの間に立っているあの男性はだれですか?』This is **between** you and me. 『これはここだけの話ですよ。』
※ 内緒話をするときや、秘密を打ち明けるときに使う表現。

606

☒ **could** [クッド] ※ could は can の過去形 → 【単語帳 No. 581… can】参照。☐ 助 ① <<can の過去形>> ~できた
② 【ていねいな依頼の文に使う語】<<短縮形>> **could** not = **couldn't****Could** you ~ ?
『~していただけますか?』※ Can you ~ ? 「~してくれますか?」
よりもていねいな表現になる。☆ Would you ~ ? と Will you ~ ? の
関係と同様。→ 【No. 612… would】They **couldn't** meet Emi at the station. … (★)
『彼らは駅でエミに会うことができませんでした。』
※ この文では **couldn't** = weren't able to ~ (下記の説明を参照)I knew (that) Tom **could** swim well.
『私はトムが上手に泳げることを知っていました。』
※ 主節の動詞が過去形(knew)なので、that の後ろの
文の時制も過去形になる。<<時制の一致>>**Could** you (please) open the window ?
『その窓を開けていただけますか?』
※ please を使うこともある。<<書き換え>> **can** = be able to → **could** = was [were] able to ~ ※ be 動詞は主語に応じて使い分ける。上記(★)の書き換え … They weren't able to [← **couldn't**] meet Emi at the station.☆ **could** には「(しようとせば)~できた(のだが…)」という意味を含む用法がある。そのため、単純に「~できた」という意味では、**could** よりも was [were] able to ~ を使うほうがふつう。(以下の例文を参照のこと)

I was able to answer the question. 『私はその質問に答えることができました。』

I **could** run faster. 『私は(走ろうと思えば)もっと速く走ることができました。』

〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル単語帳 〕

607
☒ lend [レンド]動 ～を貸す
(⇔ borrow [No. 647])活用 : lend [レント]
- lent - lending

3単現形 : lends [レンツ]

lend [人] [物] = lend [物] to [人] 『[人] に [物] を貸す』
※ くわしくは、プリント教材の【第3文型と第4文型】参照。Will you **lend** me this book? 『この本を私に貸していただけますか?』
= Will you **lend** this book to me?I **lent** Tom some pens. 『私はトムにペンを何本か貸しました。』
= I **lent** some pens to Tom.

※ 上記はどちらも、上の英文が第4文型の文、下の英文が第3文型の文。

608
☒ than [ざあん]接 ～よりも、～に比べて
【比較級(…) + than ~ の形で使う】more ... **than** ~ 『～よりも…』
more **than** ~ 『～以上の』
→ 【No. 448 ... more】比較級(…) + **than**
any other + 単数名詞(~)
『他のどの～よりも…』※ 比較級の文だが、内容的には
最上級のような意味になる。He is younger [more famous] **than** I [me].

『彼は私よりも若い[有名]です。』

※ I の後ろには am が省略されている。

※ 口語では **than** I (am) のかわりに **than** me を使うことがある。I like summer better **than** winter. 『私は冬より夏が好きです。』Mt. Fuji is higher **than** any other mountain in Japan.
『富士山は日本で他のどの山よりも高い。』※ 内容的に最上級の文と同意なので、最上級の文と書き換えることができる。
→ 【No. 109 ... any】、【No. 594 ... other】

= Mt. Fuji is the highest (mountain) in Japan.

『富士山は日本で1番高い(山)です。』

609
☒ among [アマング]

発音注意

前 (3つ・3人以上)の間に[で、の]

among ... 3つ・3人以上の間に
あることを表す。between ... 2つ・2人の間に
あることを表す。
→ 【単語帳 No. 605】I saw a big bird **among** the trees.

『私は木々の間にとっても大きい鳥を見ました。』

Ms. Aida is standing **among** the students.

『相田先生はその生徒たちの間に(囲まれて)立っています。』

Soccer is very popular **among** young people.

『サッカーは若者の間でとても人気があります。』

→ 【No. 434 ... popular】

610
☒ put [プット]

動 ～を置く、のせる、入れる

活用 : put [プット]
- put - putting活用
注意~ing
注意

3単現形 : puts [プツ]

put on ~ 『～を身に着ける』
→ 右の説明を参照のこと。**put** off ~ 『～を延期する』**put** out ~ 『(火・明かりなど)を消す』**put** ~ into ... 『～を…に入れる、
～を…に訳す[翻訳する]』Meg **put** the book on the table.

『メグはその本をそのテーブルの上に置きました。』

※ 3単現の s がないので、この **put** は過去形。**put** on ~ 『～を身に着ける、着る、
(帽子など)をかぶる、(靴)をはく』
⇔ take off ~ 『～を脱ぐ』 → 【単語帳 No. 140 ... take】

☆ wear は「身に着けている」状態を表す。→ 【単語帳 No. 576】

Put on this jacket. 『この上着を着なさい。』= **Put** this jacket on.(… **put** と on の間に名詞をおくこともできる)※ 目的語が代名詞のときは **put** と on の間に代名詞をおく。He **put** it on. 『彼はそれを身に着けました。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

- 611
 ☒ **because** [ビコーズ] **Because** it was sunny yesterday, we went shopping. … ①
 = We went shopping **because** it was sunny yesterday. … ②
 『昨日は天気良かったので、私たちは買い物に行きました。』
 ※ ①… 接続詞を文頭に使った文 / ②… 接続詞を文中に使った文
- ☒ (なぜなら)～だから、～なので
 <<because of … で>> …のために
- ※ **because** の文は so 接続詞 を → = It was sunny yesterday, so we went shopping.
 『昨日は天気良かった。だから私たちは買い物に行きました。』
- because** のうしろには<<理由>>が、
 so のうしろには<<結果>>がくる。
 → 【単語帳 No. 127 … so】 参照。
- Why did you go to the hospital?
 『あなたはなぜ(その)病院へ行ったのですか?』

→ **Because** I had a cold. 『風邪をひいたからです。』

Because of the heavy snow, the party was canceled.
 『大雪のために、そのパーティーは中止されました。』
 ※ cancel [キァンスル]「キャンセルする、中止する、取り消す」

<<時・条件>>を表す副詞節の文では
 未来のことも現在形で表す。
 くわしくは、プリント教材の
 【時・条件をあらわす副詞節】参照。

※ **because**, if, when, after, before などの接続詞がある文では、接続詞を文頭に使った文(上記の①の文)と、
 接続詞を文中に使った文(上記の②の文)の2通りの英文を作ることができる。
 … 接続詞が文頭にある文では、文中に、(コンマ)が必要になる。コンマによって、その接続詞の影響の範囲がわかる。

<<発展>> and, but, or, so のような、語・句・節(…主語と動詞を含むひとかたまりの部分)を対等の関係で
 結びつけるものを等位接続詞という。それに対し、**because**, if, when, that などの接続詞を
 従属接続詞という。 ※ 従属接続詞については、ダントツ英文法【接続詞…lesson60,61】参照のこと。

- 612
 ☒ **would** [ウッド] ※ **would** は **will** の過去形 → 【単語帳 No. 586 … will】 参照。

- ☒ ① <<will の過去形>> … 慣用句・熟語を作る語にもなる。
 ② 【ていねいな依頼の文に使う語】

<<短縮形>> **would** not = **wouldn't**
 I **would** = I'd [アイド]

would like [love] to ~ 『～したい』
 ※ want to ~ よりていねいな表現。
 → 【単語帳 No. 162 … want】

Would you like ~ ? = How about ~ ?
 『～はいかがですか?』

Would you like to ~ ?
 『～するのはいかがですか?』

Would you (please) ~ ?
 『～していただけますか?』

※ Will you ~ ? よりもていねいな表現。
 please といっしょに使うことが多い。
 ☆ Could you ~ ? と Can you ~ ? の関係
 と同様。 → 【単語帳 No. 606 … could】

※ **would** には「よく～したものだ」という
 意味の【過去の習慣】を表す用法もある。

We **would** often go skiing.
 『私たちはよくスキーに行ったものだ。』

I thought (that) Meg **would** come here.
 『私はメグがここに来るだろうと思いました。』
 ※ 主節の動詞が過去形(thought)なので、that の
 後ろの文の時制も過去形になる。<<時制の一致>>

I would [I'd] like [love] to meet Tom.
 『私はトムに会いたいです。』
 ※ 主語が I のときは短縮形 I'd を使うことが多い。
 ※ **would** love to ~ は女性がよく使う表現。

would like [人] to ~ 『[人] に～してもらいたい』

I **would** like you to come here.
 『私はあなたにここに来てもらいたい。』

Would you like something to drink ?
 『あなたは何か飲み物が欲しいですか?』
 ※ something to drink … 不定詞の形容詞用法
 → 【単語帳 No. 621 … something】

Would you like to come with me ?
 『あなたは私といっしょに来たいですか?』
 ※ to の後ろには動詞の原形を使う。

Would you (please) help me ?
 『私を助けていただけますか?』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

613
☒ lose [ルーズ]

動 ～を失う、なくす、見失う、負ける
 (⇔ find「見つける」、win「勝つ」)
 →【単語帳 No. 220… find】
 →【単語帳 No. 672… win】

活用 : lost [ロースト]
 - lost - losing

発音
注意

3単現形 : loses [ルーズィズ]

派生語 : loser [ルーザァ]「敗者」(⇔ winner)

lose one's way 『道に迷う』
 ※ one's の部分には、my, your, his などの所有格が入る。

I **lost** my pen. 『私は(私の)ペンをなくしました。』… ①I have **lost** my pen. 『私は(私の)ペンをなくしてしまった。』… ②

※ ①の英文は、過去の出来事だけを表しているので、なくしたペンが今までに見つかったのかどうかはわからない。

②の英文は、現在完了形<継続>の用法で、ペンをなくした状態を今も続けていて、ペンはまだ見つかっていない。

Many people **lost** their lives in the war.

『たくさんの人々がその戦争で命を落としました。』

※ lives は life(命、生命)の複数形 →【単語帳 No. 339… life】

Ken **lost** his way yesterday. 『ケンは何昨日道に迷いました。』Our team may **lose** the game.

『私たちのチームはその試合に負けるかもしれない。』

614
☒ as [あズ]

前 ～として

接 ～のように

《as ~ as … で》 ~と同じくらい
 ※ 厳密には前者の as は 副詞

代 《the same ~ as … で》 …と同じ~
 《such ~ as … で》 …のような~

as ~ as … 『…と同じくらい~』
 ※ ~の部分には、形容詞または副詞の原級[もともとの形]を使う。

not **as** [so] ~ **as** … 『…ほど~ではない』
 ※ 否定文では前者の **as** のかわりに so を使うこともある。

__ times **as** ~ **as** … 『…の__倍の~』
 ※ 2倍は twice, 半分は half, 3倍以降は three times, four times … となる。
 →【No. 620… twice】【No. 751… half】

as ~ **as** one can 『できるだけ~』
 = **as** ~ **as** possible

the same (~) **as** … 『…と同じ(~)』
 →【No. 713… same】

such ~ **as** … 『…のような~』
 →【No. 696… such】

She is famous **as** an artist. 『彼女は芸術家として有名です。』
 ※ artist「芸術家、画家」→【No. 278】

He gave me a dictionary **as** a birthday present.
 『彼は誕生日プレゼントとして私に辞書をくれました。』

Do **as** you like [I say].
 『あなたが好きなように[私が言うように]しなさい。』

Meg is **as** tall [old] **as** Emi.
 『メグはエミと同じくらい背が高い[同い年です]。』

I can't run **as** fast **as** Tom. 『私はトムほど速く走れません。』

Australia is about twenty times **as** large **as** Japan.
 『オーストラリアは日本の約20倍の大きさ[広さ]です。』

Run **as** fast **as** you can. 『できるだけ速く走りなさい。』
 = Run **as** fast **as** possible.
 →【単語帳 No. 581… can】、【No. 858… possible】

I go to the same school **as** Meg.
 『私はメグと同じ学校に通っています。』

This pen is the same **as** Ken's (= Ken's pen).
 『このペンはケンの(ペン)と同じです。』

I've never heard such stories **as** Aki tells.
 『私はアキが言うような話は一度も聞いたことがありません。』

615
☒ happen [ハアプン]

動 (偶然に)起こる、生じる

活用 : happened [ハアブンド]
 - happened - happening

3単現形 : happens [ハアプンス]

happen to ~ 『偶然[たまたま]~する』

What **happened**? 『何が起こりましたか[ありましたか]?』

I didn't know what **happened** to her.
 『私は彼女に何が起こったのかわかりませんでした。』

What's **happening**? 『何事ですか[どうしたの]?』I **happened** to see Tom. 『私は偶然トムに会った。』☆ **happening** には「出来事、事件、ハプニング」の意味の 名詞 もある。

〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル単語帳 〕

616
☒ future [ふ्यूチャ]

名 未来、将来 (⇔ past「過去」、present「現在」)

形 未来の、将来の

in the **future** 『将来は、未来に、これからは』
 (⇔ in the past【No. 728】、at present【No. 754】)
 a **future** doctor 『将来の医者、医者のお』
 Tom's **future** wife 『トムの未来の奥さん』

I want to be an artist in the **future**.
『私は将来 芸術家[画家]になりたい。』Emi is saving money for the **future**.
『エミは将来のためにお金を貯めています。』Meg is Tom's **future** wife.
『メグはトムの未来の奥さんです。』

過去 現在 未来
 past present **future**

617
☒ moment [モウメント] 発音注意名 瞬間、ちょっとの間
(= minute, second にも同意表現がある)

in a **moment** 『すぐに』
 at the **moment** 『今のところ』

Just a **moment** [minute/second]. 『ちょっと待って。』
= Wait a **moment** [minute/second].※ 最近 **moment** よりも minute を使う表現のほうが好まれる。
→【No. 329… minute】【No. 336… second】618
☒ throw [すろう] 発音注意

動 (～を) 投げる

名 投げること

活用 : threw [するー]

– thrown [すろうん] – throwing

※ 過去形は through (～を通って) の同音語 →【No. 634】

3単現形 : throws [すろうず]

throw away 『(物を) 投げ捨てる』I **threw** a ball to him. 『私は彼にボールを投げた。』I **threw** a ball at him. 『私は彼にボールを投げつけた。』

※ to は相手が受け取れるように、at はめがけての意味。

She **threw** away the empty can.
『彼女は空き缶を投げ捨てた。』※ empty [エンプティ]「からの」【No. 986】(⇔ full)
can [キアン]「缶、缶詰、～できる」→【No. 581】☆ **名詞** の用法の例文は省略します。619
☒ become [ビカム] アクセント注意

動 ～になる (= be)

活用 : became [ビケイム]

– become – becoming

3単現形 : becomes [ビカムズ]

Ben **became** a doctor. 『ベンは医者になりました。』I want to **become** [be] a teacher. 『私は先生になりたい。』※ 将来「～になりたい」というときには be を使うことが多い。
→【単語帳 No. 180… be】Meg **became** sick [famous]. 『メグは病気に[有名に]になりました。』**become** [get] sick 『病気になる』 ※ **become** は get よりも硬い表現。→【単語帳 No. 147… get】620
☒ twice [トゥワイス] 発音注意

副 二度、2回、2倍

twice a week [month / year]
 『週[月/年]に2回』

twice as ~ as … 『…の2倍の～』

※ once 「一度、1回」→【単語帳 No. 497】

half 「半分」→【単語帳 No. 751】

三度 [3回/3倍] 以上は three times,
four times, five times, … とあらわす。Emi goes shopping **twice** a week.
『エミは週に2回買い物に行きます。』Yesterday I met Ken **twice**.
『私は昨日ケンに2度会いました。』Meg has been to Kobe **twice**.
『メグは2回神戸に行ったことがあります。』※ **have** [has] been to ~ 「～へ行ったことがある」This train is **twice** as long as that one (= train).
『この電車はあれ[あの電車]の2倍の長さです。』